

中学生海外派遣事業

町内の中学生11名がニュージーランドに行き、異国の文化に触れ合ってきました。参加した皆さんのレポートを紹介します。

◆平成22年度中学生海外派遣事業に参加して

教育長 坂本 勝

本年度の中学生海外派遣事業が8月21日から30日の10日間の日程で行われました。昨年度は新型インフルエンザの流行により事業が中止されましたが、今年度は佐賀中学校から7名、大方中学校から4名の生徒と、引率者4名の計15名の派遣団でした。

8月21日の早朝、家族に見送られながら佐賀庁舎を出発した私たちは、18時15分に成田を出発しました。10時間余りの飛行の後、翌朝8時15分に、北島のオークランド空港へ着きました。オークランドは思っていたよりも暖かく、日本の3月初め頃の気候でした。入国手続きには人が多く、手続きの順番が来るまでに30分ほどかかりましたが、生徒たちも皆スムーズに手続きが出来ました。



この日の宿泊地ロトルアはニュージーランドで2番目に

大きいロトルア湖周辺に広がる町で、今なお先住民民族マオリの伝統文化が残っている町です。夜はマオリの昔の暮らしや、歌や踊りを見ることが出来る「マオリ村」の見学です。歓迎の儀式や「ハカ」という迫力のある踊りを見て、生徒達も感動した様子でした。8月23日10時にハミルトンにある交流先のフェアフィールド中学校へ到着しました。学校は、敷地内に平屋の校舎がいくつも配置されており、広々としています。広い校庭は全面緑の芝生というのも驚きです。学校内の設備は、放

送設備、広いスペースの図書室や特別教室など、どれも充実していました。

生徒も非常に元気があり、積極的で、この時期にはだしで外を飛び回っていました。授業は自由な雰囲気で、生徒の自主性を尊重し、生徒自らに考えさせるような授業内容で行われていました。円形テーブルでのグループ形式の授業を取り入れていましたが、机に向かっている生徒や床に座っている生徒などがおり、日本では見られない授業の様子でした。



夕方ホストファミリーの方々が見えて生徒と対面した後、それぞれの家庭へ。私たちは生徒たちが家族とうまくコミ

ユニケーションを取りながら過ごしてほしいと願いながら見送りました。

翌朝、生徒たちは、皆表情も明るく昨夜は良く眠れたという事で安心しました。この日は11時から国際交流週間の歓迎式です。この式典は本来であれば一週間前の予定でしたが、私たちの訪問に合わせた学校側の配慮によるものです。大ホールに全校生徒800名ほどが集合し、各国の留学生が、自国の言葉でスピーチした後、英語でスピーチを行いました。私たちの紹介はALTのダニエルがしてくれ、生徒たちは予定していた歌などを元気に発表しました。



集会の後で何人もの生徒たちが、「コンニチワ」と声をかけてくれましたが、集会で各国の挨拶が紹介されたので、子ども達は早速覚えてくれて私たちに声をかけてくれたのです。

特に感心したのは、フェアフィールドの生徒は教室から他の場所へ移動する際に、全員が揃ってから2列に並んで移動することです。教師がそばにいないくても生徒が自主的に行動する姿は、黒潮町の子ども達にも新鮮に映ったことだろうと思います。

8月25日はハミルトン郊外にある小学校を訪問しましたが、そこでも心温まる歓迎をしてくれました。全校児童280名の学校で、児童数は少しずつ増えているとのこととです。着くとすぐに全員による心温まる歓迎式が始まり、生徒たちもお礼に歌を2曲とけん玉、あやとりを披露しました。午後は市内で校外学習でしたが、緊張感から解放された生徒たちは本当に楽しそうでした。

8月26日は昨夜の雨も上がり暖かい朝になりました。生徒たちもホームステイにもずいぶん慣れたのか、元気に登校してきて昨夜のホームステイ先での出来事を、楽しそうに話しています。午前中のマオリの文化学習では、100名ほどの生徒が歌う歌と踊りは非常に力強く迫力があり、生徒たちが皆マオリの文化に誇りを持っていることがよくわかりました。



午後には各クラスでの授業となりましたが、生徒たちにとっては長い時間になったのではないかと思います。英語が理解できないと授業の内容が分からないので、自分で考え



て自ら学ぶ必要があります。事前に自分が何をするのかということを決めておき、準備しておく必要があると思います。

8月27日は全校生徒による朝礼に参加しました。この朝礼では一週間の中で、成績の良かった生徒が発表され、全員の前で校長先生から祝福されます。表彰された生徒がスピーチを行いました。非常に落ち着いていてすばらしいスピーチでした。こうした取り組みは子どもたちの励みになり、良い取り組みだと感じました。

8月28日はホストファミリーに見送られながら学校を後にしました。オークランドへ着く頃には青空が広がってすがすがしい天気となってきました。添乗員の話では、ニュージーランドは良く雨が降るのですが、すぐに降り止んで、日本のように長く降ることは無いそうです。本当に期間中はそれほど寒くもなく天候にも恵まれました。この日はオークランド博物館や、ノースランドへ渡っての観光の後、オークランド市内でのショッピングです。2時間足らずのショッピングでしたが、これまでほとんどお土産を買う機会が無かった生徒たちは本当に楽しそうでした。

8月29日朝6時にホテルを出発しました。空港でJTBの現地係員の方と別れる際、「私も色々な学校の子どもたちを見てきましたが、生徒たちの態度も良く、自分勝手な行動も見られず、本当に素直な子どもたちでした」と言われ、大変嬉しく思いました。今回の海外派遣では天候にも恵まれ、誰も体調を崩すこともなく、事故も無かったことが何よりでした。また、ほぼ予定どおりに事業を行うことが出来ました。これも生徒たちが常に時間を守り、規則正しく行動出来たことによるものだと思います。

今年度も残念ながらニュージーランドからの訪問団はありませんでしたが、この事業を通じて多くの人たちと交流する中から、国際的な視野と、幅広い心を持った人材が育っていくのではないかと思います。



※中学生のレポートに出てくる「NZ」とは、ニュージーランドの略です。

◆「忘れられない10日間」

大方中学校 3年 澳本 秋

ニュージーランドの10日間、私は日本では得られなかったたくさんのことを学びました。3日目に行ったフェアフィールド中学校では、いろいろな人種の人々がいて、最初は上手く英語でコミュニケーションを取ることができませんでした。でも、時間がたつにつれ、みんなと話したりするところが楽しくなって、自分から話することができるようになりました。それはホームステイの時と同じで、みんなとカードゲームをしたり、質問に答えられたりできたので、英語がわかると本当に楽しいと思いました。ニュージーランドの人は本当に優しく、冷たくする人が誰一人いなかった。のでとても助かりました。

この10日間で学んだことは、自分の将来に繋がる貴重な体験でした。中学生で、外国に行き生徒と交流することができて本当に良かったです。将来、自分が大人になったら、また必ずニュージーランドに行きたいです。

◆「ニュージーランドでの日々」

大方中学校 3年 瀨本 汐里

飛行機は思っていたより楽しめました。ニュージーランドに着くと、少し寒くて、風景がともきれいでした。羊も可愛かったです。日本とは全然違う世界でした。

マオリ族は思っていたのと、多少違って、ハカダンスは迫力があって、ハンギ料理はおいしかったです。日本には民族とかはないので、少し不思議でした。

ニュージーランドの中学校は大きくてきれいで広くて、私もここに通いたいなあとと思うくらいでした。家も学校同様、トイレ・お風呂が2つあり、私の分のベッドもありました。

ニュージーランドで学んだ事は、英語を3年間しか勉強していない私でも、話せた事、みんな優しくした事、日本とは全く違う文化、マオリ族についてなどいろいろです。本当に、時間を巻き戻してもう一度行きたいくらい、楽しめて、勉強になりました。私はいつかまた、ニュージーランドへ行きたいです。

◆「海外派遣事業に参加して」

大方中学校 3年 中平 萌々

海外派遣事業に参加し、10日間NZに行ってきました。学校訪問とホームステイを5日間して日本との違いをたくさん学びました。NZの学校は日本と違いみんなで同じ事を勉強するのではなく、一人ひとりがパソコンを使い自分のするべきことをしている授業で驚きました。授業時間は一時間半で長かったです。ホームステイでは自分の言いやすいことが伝わらなかつたり、相手の言っている事が分からなかつたり大変だったけど、だんだん伝わるようになって嬉しかったです。NZの食べ物、ファーストフードばかりですごく日本食が恋しかったです。でも、NZでの生活は初体験の事だらけですごく楽しかったです。ホームステイと学校訪問は慣れた頃が終わったのもつといたかつたです。NZでは本当に慣れない環境で大変でした。でも楽しい10日間で、文化や生活の事が学べました。この経験を大切に、将来英語を話せるようになりたいと強く思いました。

◆「海外派遣事業を通じて」

大方中学校 3年 濱口 飛鳥

私は、この海外派遣事業でニュージーランドへ行ってきた皆さんのことを学びました。最初は不安ばかりで、何度も早く日本に帰りたいと思いました。でも、伝統的なマオリ族のダンスや羊、中学校での授業やホームステイ先の家族の方々と過ごしたことで、このような体験は、今では私の宝物です。

授業も勉強する姿勢が日本と違って、小さな物音もすごく響きます。「世界で一番読解力がある」と言われている理由が分かりました。また、家族の人達には本当の家族のように接してくれて、いろいろな話しをして最後に別れるのがとても悲しかったです。何を話しているのか分からなくて戸惑ったときもありました。言いたいことが言えなくて困ったときもあったけど、辞書を使ったり身振り手振りで伝えることができました。日本食も食べてくれたし、上手に話せなかつたけど私が話そうとすると真剣に聞いてくれました。来年もたくさんの人に行つてほしいと思いました。

◆「ニュージーランドの思い出」

佐賀中学校 3年 今西 瑞紀

私は、ニュージーランドに行つていろいろな体験ができました。

一番心に残っているのは、フェアフィールド中学校とホームステイです。

中学校では単語でしか話せなくて大変だったけど、最後の日には友達もたくさんでき、すごく楽しかったです。

ホームステイは、ホストファミリーが温かく受け入れてくれました。

とても優しい家族だったので、すぐになじめてホームシックになることもありませんでした。ごはんを作ってくれたり、毎晩ボーリングや買い物やゲームセンターに連れて行ってくれたり、本当にお世話になりました。あの家族で良かったなあと心から思いました。

私は今回の海外派遣事業で一生心に残る大切な思い出がたくさんできました。私にとつてはとても貴重な体験でした。

とてもいい経験になったので、これからもぜひ続けてほしいと思いました。

◆「NZでの派遣事業を終えて」

佐賀中学校 3年 江口 奈穂

NZでの研修は楽しかったし、とても勉強になりました。最初は『単語だけでも会話できるだろう』と思つていましたが、いざホームステイとなると、相手の言っている英語を聞きとれなくて1日目は全然話が続きませんでした。でも1日中英語を聞いてみると、だんだんと慣れて会話ができるようになりました。それがすごく嬉しかったです。

次にNZと日本の違いで、フェアフィールド中学校に着いてまず感じたこと。1つ目はみんな服装が半袖、半ズボンということ。2つ目は靴を履かない人がいるということ。そして3つ目は寝る時間がとても早いことでした。だから私もNZではとても生活習慣がよかつたと思います。

最後に、ホームステイがとても楽しかったです。みんな優しくしてくれて嬉しかったです。この研修で英語が少し上達したし、NZの生活ができてよかつたです。

将来、またNZに行きたいです。

◆「ニュージーランド研修に参加して」

佐賀中学校 3年 川村ひかり

私が、ニュージーランド研修に参加して印象的だったのは、マオリの文化とホームステイです。

マオリの歌や、ダンスを目の前で披露してくれたので、とても迫力がありすごかったです。マオリ式の鼻と鼻とをくつつける挨拶はする前は、はずかしかったけど、やってみると、普通の言葉だけの挨拶よりも、気持ちがいもつているように感じました。

ホームステイは、1日目は緊張して落ち着かなかつたけど、家族の人達が話しかけてくれたので、2日目からは緊張がほぐれ、楽しい時間を過ごすことができました。

私は、自分の意見をしっかりと伝えることが大切だとわかっていけど、研修中には、自分から何をしたいか伝えることがあまりできませんでした。これからは、自分の意見をしっかりと伝えられるように努力し、この研修で経験した事を生かせるよう頑張ります。

◆「海外派遣事業に参加して」

佐賀中学校 3年 敷地 圭太

僕がニュージーランドに行つて一番心に残ったことは、フェアフィールド中学校にいた5日間です。最初に、僕と

由宜に付いてくれる生徒と自己紹介をしました。名前はトムとルウィスです。最初はあまり話さなかつたけど、自然と話せるようになりました。昼休みはバスケットをしたりして遊びました。遊んでいると自然と友達が増えて、いつの間にか2人から5人になっていました。僕は、フェアフィールド中学校でできた友達と遊んだりするのが一番楽しかつたし、ニュージーランドにも友達ができたとすごうれしかつたです。それに、友達ができてから、ニュージーランドにもう少し長くいたいと思ひました。

僕はニュージーランドに行くことができて、すごく貴重な経験をしたいと思います。この経験を将来に生かせるかは分からないけどいい思い出になつたし、ニュージーランドの友達にまた会いたいと思ひました。

◆「ニュージーランド研修で」

佐賀中学校 3年 土居由希菜

ニュージーランド研修で出会つた人達はフレンドリーで楽しく過ごすことができました。

言葉や文化の違う国で過ごして、大変だと感じるが多かつたけど、充実した研修になつたのでよかつたです。

私が特に心に残つたのは、ホームステイです。ホストファミリーには、朝昼夜のご飯や、生活を助けてもらつて本当に感謝しています。ステキな家族たちと少しでも生活できて、よかつたです。最初は、外国での生活に慣れられずに、ホームシックになつたりもし

たけど、楽しく過ごせるようになったのは、ホストファミリーや、学校の友達のおかげだと思ひます。

ニュージーランドは、日本人みたいに、表情とかしぐさで気分を察することはしなけれど、その分たくさん伝えて話しかけてくれました。

ニュージーランド研修は私にとってすごくいい経験になつたし、伝える大切さを学びました。この研修に参加して本当によかつたです。

◆「ニュージーランドに行つて感じたこと」

佐賀中学校 3年 明神 由宜

僕は今回の海外派遣事業に参加させてもらつて、いろいろな面でも勉強になり行けて本当によかつたと思ひます。

6日間お世話になつたホームステイ先のお父さんと息子さんは、6年前に佐賀に来ていたとの事で、とても親切にしてくれました。僕の体が大きいので食べ物の量に気が使つてくれたり、英語がわからなくて困つていたら日本語で話しかけてくれたので、僕はそれに甘えて「イエス・ノー・オッケー・センキュー」と、笑顔で何とか乗り切りました。

フェアフィールド中学校との交流が5日間あり、向こうの中学生が積極的に英語でペラペラ口々に話しかけてきてパニックになりかけてしま

たが、一緒に料理を作つたりスポーツをすることで言葉はわからなくても心が通じ合い、すぐに友達になつて楽しかつたです。ニュージーランドの人達は、だれにでもフレンドリーで親切だと感じました。もっと英語を勉強してまた行つてみたいです。

◆「海外派遣事業に参加して」

佐賀中学校 3年 宮尾 寧

私がこの海外派遣事業で学んだことは、これから先いろんなところで、役立つと思ひます。

私たちが普段、話している言葉が通じない場所に行つて、自分の知識だけで生活する大変さや、日本と全く違う文化の中で生活するというのが、大変だつたけどその中でいろんな事を感じる事ができました。

ホームステイは初めての経験で初日はすごく緊張したけど、優しい家族だつたので、徐々に緊張もとけて、楽しむことができました。

フェアフィールド中学校では、目標にしていた友達もいっぱいできて、休み時間に日本の遊びを教えたり、ご飯と一緒に食べたりしました。

ステイ先の家や中学校で日本との違いや、少し似ている事など、いろんな事を感じる事ができました。

これからはこの経験を将来生かせるように、また英語を勉強していきたいと思ひます。